

サービス見込量進捗管理シート

市町名:佐野市

NO.	項目		令和5年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和6年度)	備考
1	要介護認定者数(R6年度)		令和6年度の要介護認定者数は計画値に対して2%、要介護認定率は0.53%上回っており、いずれも微増となった。 要因としては、本市の総人口は減少が続いており高齢者人口は減少していくと推計され、計画にも反映しているところだが、後期高齢者の割合が令和5年度と比較して増加したことによるものと推察している。	総括表
2	要介護認定率(R6年度)			
3	利用者数	施設サービス	概ね計画通りであるが、考察は以下の通り。 介護老人福祉施設について、計画値に対して、実績値が下回っている(95.1%)が、これは施設において、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや、施設クラスターによる受入停止があったことが影響していると考えられる。	総括表詳細(1)
4		居住系サービス	概ね計画通りであるが、考察は以下の通り。 特定施設入居者生活介護について、計画値に対して実績値が大きく下回っている(73.5%)。住所地特例者が増えた影響とみられる。	
5		在宅サービス	訪問リハビリテーションや短期入所療養介護、看護小規模多機能型居宅介護については、計画値と実績値でそれぞれ大きな乖離があるが、計画値が少数であることが乖離の主な要因であると考えられる。 訪問看護の実績値が計画値を上回っている(117.4%)。コロナ禍で高齢者が外出を控えるようになり、在宅の医療系のサービスの需要が高まっているのではないかと推察される。 短期入所生活介護については、実績値が計画値を下回っている(84.2%)。新型コロナウイルス感染症の影響により利用控えや事業所クラスターによる受入停止が生じたことや、休止(廃止)した事業所があることも影響しているのではないかと推察される。	
6	受給率	施設サービス	利用者数の分析・考察と同様	総括表詳細(2)
7		居住系サービス	利用者数の分析・考察と同様	
8		在宅サービス	利用者数の分析・考察と同様	
9	1人1月あたり利用日数・回数		訪問リハビリテーション(要支援)や短期入所療養介護(要支援)、短期入所療養介護(要介護)については、計画値に比べ実績が大きく上回った。 いずれも、利用者が少数であるため、大きな乖離が生じやすいものである。	総括表詳細(3)

サービス見込量進捗管理シート

市町名:佐野市

NO.	項目		令和5年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和6年度)	備考
10	受給者1人あたり給付費	施設サービス	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護について実績値が計画値を上回っている(110.7%)。入所者の平均要介護度が上がってきているものと考えられる。	総括表詳細(4)
11		居住系サービス	計画と実績に大きな乖離はない。	
12		在宅サービス	居宅療養管理指導について、実績値が計画値を大きく上回っている(133.8%)。コロナ禍であったため、在宅医療系のサービスの需要が高まっているのではないかと推察される。 短期入所療養介護、訪問リハビリテーションや訪問入浴介護については、計画値と実績値に乖離があったが、これらは利用人数の計画値が少数であり変動しやすいものであるため、大きな乖離が生じやすいものである。	
13	給付費	施設サービス	計画と実績に大きな乖離はない。	総括表詳細(5)
14		居住系サービス	計画と実績に大きな乖離はない。	
15		在宅サービス	訪問看護や居宅療養管理指導について、実績値が計画値を大きく上回っている。コロナ禍で在宅医療系のサービスの需要が高まっていると推察される。 短期入所生活介護については実績値が計画値を下回っている。これは新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや、事業所クラスターによる受入停止があったことが影響していると考えられる。 訪問入浴介護や訪問リハビリテーションが計画値に比べ実績が大きく下回った。逆に、短期入所療養介護(老健)については、計画値に比べ実績が大きく上回った。いずれも、利用人数の計画値が少数であるため、大きな乖離が生じやすいものである。	